

# あたりまエコ

D 自然愛護 中学校



ねらい

意識しなくても自然にできるエコがあることに気づかせ、日常でできる“あたりまエコ”な行動をしようという意欲を高める。

資料提示の工夫

ポスターにある「あたりまエコ」という言葉のみを提示する。「どんな意味だろう?」と投げかけ、生徒に予想させたあとに「やってる?日常のエコ。」「意識しなくても自然にできる。エコを当たり前にする時代になりました。」という言葉で提示する。

思考を促す  
発問

- 発問1 (あたりまエコとは) どのような意味でしょう。
- 発問2 (ポスターの全体を提示して) あなたは、“あたりまエコ”をしていますか。
- 発問3 他にどんな“あたりまエコ”があるでしょうか。

ポイント

発問2のあと、生徒にとって身近な「水を出しっぱなしにしない」「ゴミの分別」「モノを最後まで使う」「完食」の絵を提示し、当たり前になっているかを4段階で評価させる。発問3のあとには、言葉やイラストを使って自分の“あたりまエコポスター”を作らせ、学級で掲示すると、より意識が継続される。

出典: 「あたりまエコ」

クレジット: 舟橋璃咲